

令和8年2月 市長記者会見 配布資料

発 表 要 旨

期 日 令和8年2月 25 日(水)

時 間 午前 10 時～午前 11 時(予定)

発 表 内 容

- 1 令和7年度佐渡市一般会計補正予算について ……<財政課>
- 2 令和8年度佐渡市一般会計当初予算について ……<財政課>
- 3 令和7年の観光客入込状況等について ……<観光振興課>
- 4 電子申請システムによる証明書等の郵送サービスについて ……<総務課>

【事前質問】

- ① 環境省が、2027年度上半期中をめぐりに出雲市でのトキを放鳥することを決定しました。
本州放鳥は石川県能登地域に続き2例目となりますが、市長の受け止めと今後の連携などについての考えをお聞かせください。(農業政策課)
- ② 市は2027年度当初予算をめぐりに、基金に依存しない編成を目指しています。2026年度編成を終え、実現のめどをお聞かせください。(財政課)
- ③ 国の当初予算成立の年度内成立が困難な状況ですが、市への影響の有無について改めて教えてください。(財政課)

市長記者会見発表内容 要旨 (R8. 2. 25)

1 令和7年度佐渡市一般会計補正予算について

【配布資料あり】

<概要>

■第14号補正

補正額：8億9千257万3千円を減額

予算総額：535億3千824万円

【補正予算の主な内容】

- ① この冬の降雪量が多いことから道路の除雪等に要する経費を増額計上します。
- ② 大雪による災害が災害弔慰金の支給対象災害に適用されたことにより、災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に要する経費を計上します。
- ③ このほか、不用額の見込みに伴う減額等による経費の減額などを計上しています。

2 令和8年度佐渡市一般会計当初予算について

【配布資料あり】

<概要>

- 令和8年度佐渡市一般会計当初予算は、「15 か月予算」として令和7年度補正予算で計上した原油価格・物価高騰対策事業などの繰越事業と一体的に編成し、年度当初から市民の暮らしを守る当面の対策や島内の経済・地域活動の維持・活性化に向けて、積極的に取り組めるよう所要額を計上しています。
- 令和8年度の予算編成は、「豊かで住み続けられる持続可能な島」の実現に向けて「安心して暮らし続ける島」と「人が賑わう元気な島」の二本の未来像に向けた施策に集中的に取り組むとともに、「島の未来を創るための基盤」の構築に向けて、地域教育と民間の積極的な活用やデジタル化により業務の効率化と組織のスリム化など行財政改革に取り組む予算として編成したところです。
- 予算規模は515億円で、前年度の当初予算と比較し47億5千万円、率にして10.2%の増となりました。
- 主な増額要因は、佐渡クリーンセンターの基幹的設備改良事業や佐渡汽船運賃改定による航路運賃低廉化事業補助金の増額、小学校給食給食費の無償化などに伴う学校給食食材費支援事業補助金の創設などによるものです。

- 持続可能な行財政運営を確立するため、ふるさと納税の拡大や使用料水準の適正化による自主財源の確保、組織見直しと業務効率化による人件費の抑制、公共施設等の在り方の見直しなどによる事業経費の削減などにより、財政調整基金の繰入を前年度当初予算と比較して5億円削減しました。引き続き、持続可能な行財政運営を実現するため、令和9年度までに基金に依存しない財政運営に向けて、さらなる繰入額の縮減を図ります。

【主要施策における主な取り組み】

①「市民と共に創る安全・安心な島」

- ・ 運転士不足により路線バスの減便・休止が進む中で、地域交通を確保するために、市営コミュニティバスなど地域公共交通網の再構築に取り組みます。
- ・ 防災については、地域における防災対策を加速させるため、地区防災計画の作成を支援していきます。

②「子どもから高齢者まで夢や希望が持てる島」

- ・ 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援の強化として、妊娠届出時にトキ認証米を贈り、母体の健康維持と胎児の成長を促すため、食事などの栄養相談を実施します。
- ・ 「さわた図書館・子育て交流ひろば」に子育て支援センターの機能を移設し、相談支援体制の充実を図ります。
- ・ 「健康寿命日本一」に向けて、課題となっているがんの早期発見・治療を進めるため、検診機関や企業などと連携し、がん検診の受けやすい体制づくりに取り組みます。

③「医療・介護・福祉を守る島」

- ・ 中核病院を運営するJA新潟厚生連の経営改善を促すとともに、島内での医療提供体制の確保に向けて支援を継続していきます。
- ・ 佐渡看護専門学校の新入生募集停止など看護師の確保が困難になっていることから、奨学金貸与に加え島外で生活するための家賃補助を拡充し看護師の確保に取り組みます。

④「豊かな自然と歴史・文化が薫る島」

- ・ 交通事業者等と連携した官民一体でのプロモーションを展開するとともに、佐渡を応援するインフルエンサーによる魅力発信の輪を広げることで、継続的な情報発信ができる体制を目指します。
- ・ 秋・冬の期間限定で「泊食分離」旅行プランを実施し、宿泊施設以外での消費を促すこ

とで、地域内経済の活性化を図ります。

- ・ 佐渡市で開催される全国伝統的建造物群保存地区協議会総会や北前船寄港地フォーラムなど全国的な発信の機会を有効に活用し、文化財の保存や地域に息づく文化芸能の継承を支援していきます。

⑤「元気な経済と多様な人が活躍する島」

- ・ 二地域居住を促進するため、民間事業者との連携を強化するとともに、保育園留学の受入れ人数の増加を目指し、関係人口の拡大に向けた取り組みを本格化させます。
- ・ 雇用の安定と地域の人材確保を図るため、UI ターン・地元就職応援サイト「COMPASS」と「さどマッチボックス」の活用を推進するとともに、島内で新規に就職した新卒者に対する「ふるさと就職応援金」支給制度を創設します。
- ・ 再生可能エネルギーによる島内循環を推進するため、木質バイオマスによる森林再生と島内資源循環体制整備に着手します。

3 令和7年の観光客入込状況等について

<概要>

- 令和7年1月から12月までの観光入込数は49万7,144人で、令和6年（47万910人）と比較すると105.6%、コロナ禍前の令和元年（49万5,239人）と比較すると100.4%という状況でした。
- 目的別の入込状況では、観光目的の来島者は、令和7年は31万9,227人となり、令和6年（28万262人）と比較して113.9%、コロナ禍前の令和元年（23万8,144人）と比較しても134.0%と大きく伸びています。
- 一方でビジネス目的の来島者は8万6,767人で、令和6年（9万5,805人）と比較して90.6%、コロナ禍前の令和元年（10万8,821人）と比較して79.7%、帰省目的の来島者は6万8,302人で、令和6年（7万625人）と比較して96.7%、コロナ禍前の令和元年（11万448人）と比較して61.8%と減少傾向が続いているため、入込全体としてこのような状況になっています。
- インバウンドの令和7年1月から12月までの来島者数は7,155人で、令和6年（5,969人）と比較しますと119.9%、コロナ禍前の令和元年（7,892人）と比較すると90.7%という状況でした。
- 国別の割合は、台湾24%、アメリカ18%で全体の4割以上を占めており、続いて、シン

ガポール、中国、香港、韓国、フランス、イギリスの順となっています。

- 令和6年との比較では個人・団体ともに増加していますが、世界的な旅行スタイルの変化もあり、個人旅行客が特に増加傾向にあり、団体旅行客が占める割合は近年減少が続いている状況です。
- 市営・民間の観光施設の入込延べ数は世界遺産登録後の増加が顕著であり、令和7年は71万6,356人となり、令和6年(61万9,232人)と比較すると115.7%、令和元年と比較して110.4%という状況でした。
- 観光デジタルアンケートの結果では、令和6年の観光目的の来島者の旅行消費額の総額は約157億2,300万円でしたが、令和7年の速報値(推定)では約174億円となり、約16億7,700万円増加していることから、観光目的の来島者の増加は地域経済にも一定の効果が生まれています。
- 引き続き、観光入込の季節性の平準化と平日の誘客が課題であると考えていますので、佐渡汽船や宿泊施設、飲食店とも連携をしながら、今後の対策を講じていきます。

4 電子申請システムによる証明書等の郵送サービスについて

<概要>

- 佐渡市では住民票や戸籍関係の証明書、印鑑登録証明書、各種税証明書などを、インターネットの電子申請システムで受付し、郵送するサービスを行っています。
- 電子申請システムをご利用いただくことで、スマートフォンやパソコンがあればいつでもどこでも24時間、365日申請手続きができます。
- ご利用にはマイナンバーカードが必要で、郵送費用も含んだ手数料はキャッシュレス決済です。
- 電子申請については、証明書等の発行のほか、さまざまな申請手続きも可能で、市役所窓口に来なくても手続きができますので、ご利用ください。

【事前質問】

- ① 環境省が、2027年度上半期中をめぐりに出雲市でのトキを放鳥することを決定しました。本州放鳥は石川県能登地域に続き2例目となりますが、市長の受け止めと今後の連携などについての考えをお聞かせください。
 - ・ 環境省が主体となり立ち上げた、「トキと共生する里地づくりネットワーク協議会」で、

トキの生息環境整備やトキと共生する里地づくりに取り組む地域間の交流や連携を進めている中で、今年5月の石川県羽咋市に続き、島根県出雲市が放鳥場所として選ばれたことは、大きな成果であると感じています。

- ・ 自然環境を積極的に再生させるネイチャーポジティブをみんなで意識しながら、日本の中でトキがしっかり生きていける環境を整えていくことが大切ですので、これからも様々な地域と連携・協力を図っていきたいと考えています。

② 市は2027年度当初予算をめどに、基金に依存しない編成を目指しています。2026年度編成を終え、実現のめどをお聞かせください。

【配布資料あり】

- ・ 昨年度末に作成した行政運営改革ビジョンでは、令和9年度までに基金に依存しない財政運営を目指しており、その中で財政調整基金の取り崩し額を抑制し、財政調整基金の残高を25億円確保するよう計画を立てて進めています。
- ・ 令和8年度当初予算編成においては、財政調整基金の取り崩し額を行政運営ビジョンの計画どおりに、令和7年度当初予算から5億円削減し6.5億円に圧縮することができました。今後、普通交付税の国勢調査人口の置き換えなども見込まれており、目標達成に向けてはさらに加速が必要となる可能性もあることから、引き続き様々な角度から検討を行い、目標達成に向けて取り組んでいきます。

③ 国の当初予算成立の年度内成立が困難な状況ですが、市への影響の有無について改めて教えてください。

- ・ 首相は予算案の年度内成立を目指していますが、仮に年度内に予算が成立しなかった場合、国は国民生活に影響が出ないよう、義務的経費を中心に暫定予算を編成すると思われれます。
- ・ 通常の経費については影響がないと考えていますが、一般的に新規事業等は暫定予算に組み込まれないため、当初予算の成立時期によっては新規補助事業等に影響が及ぶ可能性があります。
- ・ 現在のところ、具体的な内容や状況を全く把握できていないため、今後も国の動向について注視していきます。

《令和7年度 佐渡市一般会計補正予算（第14号）概要》

1. 補正予算について

- ・道路除雪事業の経費を増額計上
- ・災害弔慰金等の支給に要する経費を計上
- ・その他の経費については、12月補正予算編成後の事由による必要な経費と不用額の見込みに伴う減額等を計上

2. 予算規模

(単位：千円)

補正前の額	54,430,813
補正額	△892,573
累計予算額	53,538,240

3. 財源内訳

(単位：千円)

地方交付税	711,123
国・県支出金	△569,445
繰入金	△668,585
市債	△128,900
その他	△236,766

4. 主な補正項目

(単位：千円)

1) 道路除雪事業【建設課】

補正額：495,000千円

(事業内容)

降雪の影響に伴う道路除雪の経費を増額計上。

- ・道路除雪委託料ほか

2) 災害弔慰金等支給事業【社会福祉課】

補正額：10,000千円

(事業内容)

今冬期の大雪による災害が災害弔慰金の支給対象災害に適用されたことにより、災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に要する経費を計上。

- ・災害弔慰金 5,000千円
- ・災害障害見舞金 5,000千円

財政調整基金残高の推移

単位：億円

